

オンデマンド受講!

スキマ時間にご自身のタイミングで
ご受講いただけます
※受講期限: 購入後、60日以内

みんなの聴脳力® アプリマイスター講座

ヒアリングフレイルサポーター養成講座

アプリの準備から
操作、チェック時の
ポイントを学べる

アプリマイスター
としてお耳の
チェックができる

説得力のあるアセスメントで
安心感を持って
もらうことができる



みんなの聴脳力® チェックアプリマイスター 講座とは?

単音の認識状態を可視化し、総合的に「聴き取る脳の状態」をチェックすることが可能なアプリ「みんなの聴脳力®チェック」を使用して、フレイル予防イベントや研究時の難聴者の評価としてチェックを実施するための認定講座です。

こんなことが
学べます

- アプリ開発の背景
- アプリの利用方法

- アプリを使った実演
- チェック時のアセスメント

- 継続的なチェック時の
フォローアップ方法

こんな方に受けてほしい



行政職員



医師



看護師



言語聴覚士



介護スタッフ

行政職員、医師、看護師、介護福祉士、PT、OT、ケアマネージャー、介護スタッフなど
業務において、高齢の難聴の方や聴覚障がいをお持ちの方と
音声においてコミュニケーションを行う必要性がある方

高齢の難聴の方や、聴覚障害をお持ちの方との
コミュニケーションを取る機会が多い方に向けた受講内容となっています。

講座概要

- 対象…………… ①みんなの聴脳力®チェックアプリでお耳のチェックを実施したい方
②ヒアリングフレイルサポーター初級講座を修了された方
- セット内容… 全5章(1章ごとご視聴いただけます)
- 受講時間…… 105分
- 受講料………… 8,800円(税込)
- 支払方法…… クレジットカード(VISA、MASTER、JCB、AMEX、ダイナース/1回払いのみ)にてお支払ください
- 受講期間…… 購入後、60日以内
- 受講形式…… 専用ページより会員登録後、パソコン・スマートフォン・タブレットからご受講いただけます
- その他………… 3名以上での団体受講の開催希望等はお問い合わせください
受講前にBluetoothスピーカーとアプリをダウンロードしたスマートフォンまたは、タブレットをご準備ください
(お持ちでない方、ご購入を検討の方はご相談ください)



アプリマイスター
講座を動画で
解説!



講座受講者には、
マイスターバッジを進呈しています。



※講座申込後、発送までに2週間ほどお時間をいただいております。



みんなの聴脳力®チェックアプリ



※開発中の画面です



言葉の認識状態を可視化する
語音聴取チェックアプリ

登録
無料



みんなの
聴脳力チェック

音声で流れる単音の言葉を
クイズ形式で答える3〜5分
程度のゲームアプリです。



5分で
簡単!



詳細は
こちら

20文字の単音が再生されて、
その言葉を当てるクイズです。

● 20文字の単音が再生されて、
その言葉を当てるクイズです

● 無料でご利用できます

● 簡単な申込ですぐに利用可能

● シンプルで、誰でも簡単に使いやすいアプリ

【テスト中の画面】



あ

入力した文字が
表示されます。

再生された音声を聞き取り、
入力エリアに記載します。
(指で入力可能)

※手書きアプリのダウンロードが必要です。



問題別の結果が
表示されます!

ご存知ですか? ヒアリングフレイル

「ヒアリングフレイル」とは、聴覚機能の低下による身体の衰え（フレイル）の一つを示し、これによるコミュニケーションの問題やQOL低下などを含みます。

聴覚機能の低下が認知症診断結果の過小評価に繋がる可能性などをわかりやすく伝えるために、2018年に東京大学名誉教授／一般社団法人高齢者社会共創センター センター長である秋山弘子先生の協力の元、聴脳科学総合研究所 中石所長により示された新しい概念です。

※記載の所属・役職等は当時のものです。

※フレイルとは虚弱を意味する英語「frailty」からできた言葉です。その中で「ヒアリングフレイル」は耳の比較的軽微な機能低下の段階から国民への意識啓発を高めるために作られた概念です。（「フレール」と表記される場合も御座いますが、慣例的に用いられる「フレイル」の表記とさせていただきます）

※「ヒアリングフレイル®」は、NPO 法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会を権利者とする登録商標（商標登録第 6340673 号）です。

受講者の皆様の声

通所介護事業所 伊藤 雄太 様

ヒアリングフレイル予防に取り組んでいくにあたり、聴脳力チェックの正しいやり方を理解する必要があったため、受講しました。一般的に結果がわかりにくいといわれている聴力チェックですが、アプリでは点数として結果が出るので、視力検査のように結果がわかりやすくして良いと思いました。実際にチェックをしてみて、私達職員が思っていたよりも難聴が進行している方や、逆に聴こえている方もいて驚きました。ヒアリングフレイル予防に取り組みたい方や難聴の方と関わることの多い方にはお勧めの講座です。

言語聴覚士 日下 智子 様

デイサービスで勤務する言語聴覚士です。大変分かりやすく実施手順から事後アセスメントまで学ぶことができました。スマホ等で検索すると聴力検査のアプリは多く出てきますが、エビデンスに乏しいものが多く臨床で使用するには不安でした。このアプリは日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会のHPでも紹介されているので、当事者様はもちろんケアマネや家族にも結果を提示しやすいです。アプリの操作が困難な高齢者でも、サポートスタッフがタブレットに代行入力できるので、仮名一文字の書き取りや復唱ができれば幅広い高齢者の方に対応可能だと考えています。高齢者の方が聴こえの改善のために一歩踏み出すには、きっかけが必要であると考えています。日常の臨床における聴覚アセスメントの第一歩として活用させていただきたいと思います。



「ヒアリングフレイル」提唱者
みんなの聴脳力®チェックアプリマイスター認定講師
NPO法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会
理事長
聴脳科学総合研究所 所長
修士(保健医療学)
国際医療福祉大学大学院 修了
山形県地域包括支援センター等協議会 アドバイザー
中石 真一路

1973年東京都生まれ、熊本県育ち。熊本YMCA専門学校建築科卒業。建築施工管理に従事し、その後東京デジタルハリウッドに入学。QRコードのチケットレス機能のビジネスモデル特許出願や、携帯電話にQRコードリーダーを入れるなどプランナーとしての実績をもつ。前職のEMIミュージック・ジャパンにて約3年に亘る研究の末、世界初となる耳につけない対話支援システム「comuon(コミュニケーション)」を発明。これまで不可能と言われてきた「スピーカーシステムによる聴覚障害者の情報アクセシビリティ」という新しい分野を確立する。2012年4月にユニバーサル・サウンドデザイン株式会社を設立、聴脳科学総合研究所所長として高精細音響が人体に与える影響や、聴覚リハビリテーションに関する研究を行っている。